

## 第29回農林害虫防除研究会東京大会プログラム

日時：令和7年9月4日（木）13:00～5日（金）14:45

会場：北とびあ（つつじホール）

主催：農林害虫防疫研究会

共催：（一社）日本植物防疫協会      後援：クロップライフジャパン

### 第1日目（9月4日）

12:10～      受付開始

13:00～13:15    **【開会】**    海野大（東京大会実行委員長、日本農薬株式会社）  
土井誠（農林害虫防除研究会会長、静岡県農林技術研究所）  
西松哲義（クロップライフジャパン）

**【シンポジウム】** 「未来の農業を支える ～化学農薬・防除のいろは～」  
ファシリテーター 山本敦司（東京農業大学 総合研究所）  
講演 30 分、質疑 5 分（1 鈴 25 分、2 鈴 30 分、3 鈴 35 分）

13:15～13:20    はじめに「シンポジウム・テーマのねらい」  
伊地知美奈子（農林害虫防除研究会副会長）  
住友化学株式会社

13:20～13:55    講演 1    IPM のイノベーションを支える化学農薬と薬剤抵抗性管理  
山本敦司  
東京農業大学 総合研究所

13:55～14:30    講演 2    化学農薬の開発および市場と今後のイノベーション  
岩田淳  
住友化学株式会社

14:30～15:05    講演 3    化学農薬の登録と再評価  
元場一彦  
日本農薬株式会社

15:05～15:15 休憩

15:15～15:50 講演 4 化学農薬使用量(リスク換算)の試算に基づく今後の総合防除戦略  
の方向性(岩手県の事例)  
猫塚修一  
岩手県病虫害防除所

15:50～16:25 講演 5 土壌処理剤の予防技術としての利活用  
石本ゆに  
アグロカネショウ株式会社

16:25～17:00 総合討論  
「化学的防除のいろは」から何を心得、未来の農業にどう役立てるか？」

17:00～17:45 **【総会】**

18:00～ **【情報交換会】** 会場：View & Kitchen Quad 1 7 (北とぴあ 17 階)

## 第 2 日目 (9 月 5 日)

**【一般講演】** 講演 12 分、質疑 3 分 (1 鈴 10 分、2 鈴 12 分、3 鈴 15 分)  
講演者は次の講演の座長を担当 (1 番と 9 番の講演は事務局が座長)

10:00～10:15 講演 1 露地キクにおけるクロゲハナアザミウマの各種薬剤の殺虫効果  
藤森颯太  
奈良県農業研究開発センター

10:15～10:30 講演 2 赤色 LED 光照射はイチゴ上のヒラズハナアザミウマを密度抑制  
するか？  
中野亮平・曾根良輔・○片山晴喜  
静岡県農林技術研究所

- 10:30～10:45 講演3 露地ネギ栽培における光反射シートの敷設方法の違いが  
ネギアザミウマの防除効果におよぼす影響  
城塚可奈子  
(地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所
- 10:45～11:00 講演4 福島県のリンゴ園におけるナシマルカイガラムシの発生状況と  
フェロモントラップおよび「ナシマルなび(仮称)」を用いた発生  
藤田剛輝  
福島県病害虫防除所
- 11:00～11:15 講演5 イネカメムシ成虫の越冬地からの移動時期とセイバンモロコシ  
への飛来、発育経過  
○江村 薫<sup>1</sup>・斉藤光明<sup>2</sup>・古谷愛子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>埼玉県植物防疫協会,<sup>2</sup>オリザネット
- 11:15～11:30 講演6 ナミハダニの殺ダニ剤抵抗性関連遺伝子の数と染色体上の分布  
ー抵抗性管理はRとSだけで考えて良いのだろうか?ー  
刑部正博  
京都市
- 11:30～11:45 講演7 クワクサにおけるサガミナミハダニの生活環  
○安達美音・北嶋康樹  
茨城大学農学部
- 11:45～12:00 講演8 イチゴのハダニ防除における気門封鎖剤の活用と拡張性展着剤に  
よる薬害軽減対策  
○池田亜紀<sup>1</sup>・古田明子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>佐賀県農業試験研究センター(現農業技術防除センター),  
<sup>2</sup>佐賀県農業試験研究センター
- 12:00～13:00 休憩

- 13:00～13:15 講演 9 ヘアリーベッチはオールマイティな植物保護資材???  
すき込みによる病害、虫害および雑草害の軽減効果  
○徳丸晋虫<sup>1</sup>・門馬悠介<sup>1</sup>・原田 賢<sup>1</sup>・佐藤 孝<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>京都府農林水産技術センター,<sup>2</sup>秋田県立大学
- 13:15～13:30 講演 10 2024 年に福岡県で多発したハスモンヨトウの  
「インセクタ輪切り法」による薬剤感受性  
○海口直弥・清水信孝  
福岡県農林業総合試験場
- 13:30～13:45 講演 11 京都府におけるシナチクノメイガの発生生態と防除に関する知見  
○新谷雅敏<sup>1</sup>・齊藤 篤<sup>1</sup>・徳丸晋虫<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>J A 京都中央,<sup>2</sup>京都府農林水産技術センター
- 13:45～14:00 講演 12 小笠原諸島のミカンコミバエがメチルオイゲノール低反応性  
だったのは…  
大林 隆司  
東京都農林総合研究センター  
(元・東京都小笠原亜熱帯農業センター)
- 14:00～14:15 講演 13 感受性検定方法の選択とは? 特に“速効的遅死型”剤での検定方法  
○島克弥<sup>1, 2</sup>・高木修太郎<sup>1</sup>・児玉 仁<sup>1</sup>・鈴木良治<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>エフエムシー・ケミカルズ株式会社,<sup>2</sup>J IRAC (アドバイザー)
- 14:15～14:30 講演 14 薬剤抵抗性を発達させる生息環境  
森下 正彦  
和歌山県海南市
- 14:30～14:45 閉会挨拶、事務連絡、第 5 回殺虫剤抵抗性対策シンポジウムの開催案内